

バイオフィリックデザインの活用可能性に向けた実証実験について

1 実験の目的

本市では、市制100周年の節目となる令和6年度の全国都市緑化かわさきフェアの開催をきっかけとして、「暮らしやすく住み続けたいまち」の実現に向けて、**みどりの価値を見える化し、市民、企業等に幅広く普及啓発するとともに、みどりを活用した様々な課題の解決**に取り組んでいます。

その取組の一つとして、**市庁舎の執務スペースや会議室等において、室内空間を緑化する空間デザインの一つである「バイオフィリックデザイン※」を活用した社会実験**を行い、その結果を定量的に効果検証するとともに、**その検証成果をかわさきフェアを通して発信し、新たなビジネスモデルやライフスタイルの提案につなげていくため、市と連携して実証実験をしていただける企業等を募集**します。

※「人間には“自然とつながりたい”という本能的欲求があるという概念を反映した空間デザインの手法をオフィスなどに空間デザインとして反映することにより、従業員の「幸福度の向上」、「生産性の向上」、「創造性の向上」を期待するもの。(出典：平成元年7月国土交通省「参考資料 グリーンインフラの事例」)

2 実験内容

(1) 概要

市庁舎の執務スペースや会議室等にバイオフィリックデザインを導入し、これによる効果を、市職員等への調査により測定し、結果をとりまとめ、市民、企業等に幅広く発信します。

<取組イメージ>



(2) 実験場所

川崎市役所 建設緑政局内執務スペース、会議室 他



(建設緑政局会議室)



(建設緑政局執務スペース)

※具体的な実施箇所については、参画企業等と現地視察を行い、実験の有効性や広報効果等を勘案し、参画企業等と協議のうえ設定します。

(3) 実験期間 (予定)

令和3年11月頃～令和4年3月頃

※具体的な実施期間については、参画企業等と協議のうえ設定します。

3 役割分担等

(1) 役割分担

主体	役割
参画企業等	・ 植栽等の準備、配置 ・ 効果測定 (心理評価、生理評価、環境評価などによる定性、定量評価) ・ 測定結果のとりまとめ、効果検証 ※複数の企業等による共同実施も可
川崎市	・ 実験フィールド提供 ・ 植栽等の日常管理 (企業等から指導を受けたうえで実施) ・ 実験モニター (市職員等) ・ 効果の周知・PR

(2) 費用負担

実証実験の実施に必要な機材、備品等に係る費用、結果のとりまとめ等に係る費用は企業等の負担とします。

※植栽等の日常管理に必要となる水、電気代金、人件費等は市の負担とします。

4 実施に向けたスケジュール

日程	内容
令和3年11月2日 (火)	参画企業等募集開始、事前相談受付
令和3年11月15日 (月)	募集締切
参加申込受付後～	・ 現地視察 (参加申込者の求めに応じて) ・ 実験内容の調整 (実験場所、モニター数、実験期間等) ・ 実施に向けた手続き (実施条件整理、実施協定締結等)
令和3年11月～ 令和4年3月	実証実験の実施 (左記期間のうち、参画企業等と調整)
実験終了後～	・ 実験結果のとりまとめ、効果検証 ・ 効果の周知、PR

5 今後の予定

本実証実験で得られた結果を踏まえて、新たなライフスタイルの提案等に向けて、参画企業等と意見交換等を行い、令和6年度の緑化フェアにおいてその成果を全国に発信し、バイオフィリックデザインのさらなる導入促進を図ります。

<今後の予定>

令和4年度～	効果の周知、PR 取組の拡大検討 (市役所他庁舎、企業等でのバイオフィリックデザインの促進)
令和6年度	緑化フェアにおける取組の成果の発信
令和7年度～	ライフスタイルの普及・定着に向けたバイオフィリックデザインのさらなる導入促進